

教育臨床心理実践センターだより

教育臨床心理実践センター発行
2013年8月発行 第8号

教育臨床心理実践センター公開講演会「児童相談所と心理職—児童心理司として—」報告

平成25年7月30日(火)15時~17時に、京都教育大学 教育臨床心理実践センター1階 教育臨床実習室において、藤林亜美先生(宇治児童相談所)をお招きし、児童相談所における心理臨床実践についての理解を深めました。

藤林先生は、児童相談所の心理職(児童心理司)としてご活躍です。児童相談所の実際について、写真等を含め、所内の雰囲気や役割についてとても分かりやすく丁寧にご説明くださいました。これらは、都道府県によって、特徴を備えているとのことでした。児童相談所といいますと、最近では、虐待対応が大きく取り上げられますが、それにとどまらない以下のような機能を備えています。

○相談機能：養護相談(虐待相談)、障害相談、非行相談(ぐ犯・触法行為)、育成相談(性格行動・不登校・適性・育児・しつけ)

○一時保護機能：緊急保護(棄児、迷子、家出、虐待、放任等子どもを家庭から引き離す必要がある場合)、行動観察(適切かつ具体的な援助方針を定めるため)、短期入所指導(短期間の心理療法、カウンセリング、生活指導)

○措置機能：児童福祉司指導、児童福祉施設入所、里親委託、家庭裁判所送致

その他、他機関との連携が大きな位置を占めているとのことでした。また、児童心理司の業務の詳細について、心理診断、面接、心理検査から、児童相談所でどのように対応すべきか、援助の具体、心理療法や業務の実際について、現場のエピソードや心理検査器具の実物を示していただきながら、幅広い観点から貴重なお話をたくさんうかがうことができました。



教育臨床心理実践センター改築に伴う「心理教育相談室」の仮移転について

1. 仮移転の概要

- ① 平成 25 年 9 月 26 日～平成 26 年 3 月中旬までは、大学会館 3 階に相談室を仮移転します。
- ② 引っ越し作業のため、平成 25 年 9 月 18 日(水)～25 日(水)の間、心理教育相談室を閉室します。なお、相談室受付の電話は、9 月 20 日(金)、24 日(火)のみ停止します。
- ③ センター改築終了は、平成 26 年 3 月中旬を目処にしています。その後、現在の場所に戻り活動を再開します。
- ④ 相談に来られる方は、大学会館 1 階入り口から 3 階までは、エレベーターをご利用ください。

2. 仮移転の流れ

平成 25 年 9 月			平成 26 年 3 月			
17 日 (火)	18 日 (水)	25 日 (水)	26 日 (木)	中旬	数日間	中旬
←	←	←	←	←	←	←
現「心理教育 相談室」での 通常の活動	引っ越し作業に 伴う閉室		大学会館 3 階仮「心理 教育相談室」で活動		引っ越し 作業に伴 う閉室	現在の場所に戻り、 新「心理教育相談 室」として活動

3. 仮移転場所の地図



心理教育相談室について

個人・家族・学校などの悩みや困った問題について心理的援助を行っています。まずは電話にて、お気軽にご連絡ください。

075-644-8824 (月曜～金曜、午前 10 時～午後 4 時)

教育臨床心理実践センター・スタッフ

専任教員 (センター長) 教授 本間友巳 准教授 花田里欧子
 兼任教員 教授 森孝宏 教授 内田利広 准教授 小松貴弘 講師 西村佐彩子
 相談補佐員 岩瀬佳代子 (月曜) 荒井久美子 (火・金曜) 金子真理子 (水曜) 西山智栄子 (木曜)